

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所やまびこ学園（放課後等デイサービス事業）		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 22日 ～ 令和7年 2月 22日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	7
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 14日 ～ 令和7年 2月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者の安全を考慮し、利用者に対し職員配置を1対1としています。	・個々の特性に合わせ、自立に向けてできる活動内容を考え、個別支援を実施しています。	・時には小集団活動を計画をし、活動の幅を広げられると良いと思います。
2	・リハビリテーションの訓練士（PT/OT/ST）がいるため、長期休み中、必要時に訓練を受ける事ができます。		・経験値を高め、地域社会と繋がるための、外出支援等含む活動内容の工夫があると良いと思います。
3	・看護師が常勤でいるため、医療ケアを要する利用者を受け入れる事ができます。		

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・長期休暇時は、児童発達支援事業と併行となるために、活動スペースを確保する事が難しい状況があります。	・放課後等デイサービス事業を経験している職員がいないため、活動内容を試行錯誤しながら行っています。療育支援の質の向上が必要であると思われます。	・動画を利用した学ぶ機会の充実や、他事業所への見学など行い、活動内容を検討し、療育支援の質の向上を図る必要があります。
2	・放課後等デイサービス事業を経験し、専門知識を身につけている職員がほばいないため、試行錯誤な状況で活動しています。		
3	・マンパワー不足があります。利用者に対し職員が1対1で受入れをしているため、1日多くて3名迄の受入れとなります。また、利用者の年齢が高くなってきているため、同性支援の検討が必要ですが、男性の職員がおりません。		